

特別企画

両関酒造株式会社
製造部製造課
課長 山内めぐみさん

菅美登里さん

已津

兩関

秋田

湯沢

— (笑) 京野さんほんかがでしょうか。

(京野) 湯沢には酒蔵以外にも伝統的な漆器産地や国内トップクラスの精密部品の製造工場があるので、そういう『作る現場』を訪れて体験してからうことで湯沢がいかに“クリエイティブなまち”かということを魅力として発信できるのではと思っています。

— 市長は日本酒の状況をどのように捉えていますか。

(市長) 全国各地でさまざまな地酒がヒットして、日本酒の嗜好が変わってきたことは私も実感しています。今の時代に合わせて、女性の皆さんの視点で湯沢の地酒をPRできればまた違う道が拓けるのではないかと感じました。

— 市長は日本酒の状況をどのように捉えていますか。

酒造り(日本酒)の
未来について

— いのちについて皆さんにお伺いします。

(畠田) 毎年市内の小学生が見学に来てくれます。湯沢にこういう産業があるということを身近に感じてもうって、

— いのちについて皆さんにお伺いします。

(山内) 日本酒を片手に楽しそうに会話をしている様子は、造る側から見るに感動する光景で、それに自分が携わっていることを語りに感じています。日本酒が、初対面の方ともすぐに打ち解けられる、人と人とをつなぐ特別な存在としてあり続けられるように酒造りを頑張っていきたいです。

その子らが大人になったときに、当時を思い出して実際にお酒を飲んでもらいたい、うれしいなと思います。」

(京野) 弊社では数年前から自社田栽培を始め、『酒米の里ゆざわ』の復活を図し活動しています。酒造りの面では、湯沢でしか造れないオリジナリティのあるお酒を協力して造ることができます。市のPRになるのではないかと感じています。

(菅) お酒の製造現場を見学したら、日々変化するお酒が我が子のように愛しくなってしまって(笑)、蔵人さんが一生懸命造ってくれたお酒をもつと広めたいと強く感じました。日本酒は、湯沢の米、水、蔵人さんの技が結集した自慢の宝なので、かけがえのない地域の顔としてあり続けてほしいと思っています。

— 市長から皆さんに期待することはありますか。

(市長) セっかくのようになに4人に集まっていたので、4蔵のそれぞれの強みを生かしていろいろなことに取り組んでいただけるところです。慣例にとらわれない女性ならではのアイデアを期待しています。



皆さんに聞いた この冬イチオシのお酒!!



両関

純米酒

両関

辛口ですっきりとしていて香りが華やかなお酒です。いろいろな温度帯でおいしく飲めます。お鍋にベストマッチです。

酒蔵開放(予約不要)

2月14日(土)／午前10時～午後2時30分
※最終受付：午後2時

問 両関酒造株式会社(前森四丁目3番18号 73-3143)



燐漫

純米大吟醸酒

たまきね 環稻

自社田で栽培した酒米を使って、湯沢が詰まった1本です。味と香りのバランスがとても良いので、どんなお料理にも合います。

酒蔵開放(予約不要)

2月14日(土)・15日(日)／午前10時～午後3時
※最終受付：午後2時30分

問 秋田銘醸株式会社(大工町4番23号 73-3161)



福小町

純米吟醸酒

無圧汲み出し

季節限定のお酒です。冷蔵庫から出して10分ほど常温で置くと、香りがベストな状態になります。せり蒸しにとてもよく合います。

酒蔵開放(予約不要)

2月14日(土)／午前10時～午後3時

問 株式会社木村酒造(田町二丁目1番11号 73-3155)



一滴千両

純米大吟醸酒

ブルーラベル

すっきりした味わいなので冷やして飲むのがおすすめです。焼き魚やお刺身などお魚料理と楽しんでほしいです。

酒蔵開放(予約不要)

2月14日(土)／午前10時～午後3時

問 秋田県醸酵工業株式会社(深堀字中川原120番地8 73-3106)